

第1学年 国語科学習指導案

指導者 佐久山 美奈子

- 1 単元名 ようこそ！くじらぐもワールドへ ～せりふがいっぱい かみしばい～
 (学習材名 「くじらぐも」 光村図書1年下)

2 単元構想表

児童の言語活動の既習経験と実態 (文学的な文章の解釈に関する指導事項)		
既習の学習材名	知識・技能の習得状況	言語活動
おむすびころりん	語や文としてのまとまりや内容、文のリズムに注意しながら、声の大きさや明るさ、速さなどに着目して声に出して読むことができた。(ア)	「音読発表会」を開き、繰り返しやリズムを楽しみながら、文のまとまりに気をつけて音読すること。
おおきなかぶ	場面の様子や登場人物の動きを想像し、繰り返しの言葉や文のリズムを生かして声の出し方を工夫したり動作を考えたりしながら音読することができた。(ア・ウ)	場面の様子や登場人物の動き・言葉を想像して、声の出し方を工夫したり動作を考えたりして楽しく音読劇をすること。
ゆうやけ	文章の内容と自分の経験を結び付けて登場人物と自分の似ているところや違うところをまとめることができた。(オ)	「感想発表会」を目指し、登場人物の行動や会話に着目して読み、自分と似ているところや違うところを考えて発表すること。
<p>お話の世界に入り込むことが好きな子どもたちである。吹き出しを用いて台詞を考えたり、繰り返す言葉を強く読むところに線を引いたりしながら、登場人物の行動や会話をもとに音読の工夫をして、楽しく言語活動に取り組んできた。音読を楽しむ中から新たな工夫も出てくるようになってきた。しかし、様子が表れるように声に出して読むことはまだできていない。</p>		
単元を通して身に付けたい力		評価規準
<p>領域：C読むこと ◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。(ウ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読すること。(ア) ・場面の様子を想像する力。語のまとまりや響きなどに気をつけて読む力。 領域：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ○かぎ(「」)の使い方を理解すること。(イ(オ))</p>		<p>◎場面の様子を紙芝居で表すという目的をもって、登場人物の行動に気をつけて読み、場面の様子を想像している。(ウ) ○好きな場面について、語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(ア)</p>
学習材の特徴		
<p>中心学習材名「くじらぐも」(光村図書1年下) 体育の授業時間という、子どもたちにとっては身近な現実の場面から始まっている。そして、風によって空想的な世界に入り、くじらぐもと空を旅した後、また、現実の時間と空間に戻るという作品である。青く広がる空に、大きくて真っ白いくじらぐもが遊びに来るという設定は、子どもたちにとって夢を膨らませ想像を広げやすい作品であると思われる。</p>		<p>補助学習材名 並行読書 同一著者作品 ぐりとぐらシリーズ そらいろのたね いやいやえん など</p>
単元を貫く言語活動の設定要素と具体的能力		
<p>単元名 ようこそ！くじらぐもワールドへ ～せりふがいっぱい かみしばい～ 言語活動：同じ好きな場面を選んだ友達と想像を広げながらせりふを付け加え、紙芝居で表す活動。 特徴：挿絵を用い紙芝居にすることで登場人物の様子や登場人物の気持ちを想像し、音読で表すことができる。 相手：学級の友だち 目的：同じ好きな場面を選んだ仲間と想像し会話文を工夫しながら「くじらぐも」を読んで交流する。 思い：「くじらぐも」の登場人物になってせりふをいっぱい増やして楽しみたい。 能力：場面の様子を想像する力 語のまとまりや響きなどに気をつけて読む力</p>		
思考力育成の手立て		
<p>《考えをもたせるための工夫》 具体物の提示 ・挿絵を使い登場人物の行動(見る・聞く)に重ね場面の様子を想像させる。 考える技能を活用する ・順序～挿絵を並び替えることであらすじをとらえさせる。</p>	<p>《考えを表現させるための工夫》 考えの視覚化 ・付箋を貼って自分の好きな場面を自己認識させる。 ・場面の様子がわかる板書の工夫 ワークシートの工夫 ・絵と吹き出し(指導事項ウ) 交流(場の設定) ・グループ(同じ場面を選んだもの同士) 音読(会話文の確認) 会話を考える観点 〈見る・聞く(様子・気持ち)〉</p>	<p>《学びの価値づけ》 評価(ふりかえり) ・学習計画の掲示(課題意識) ・学習計画シートに単位時間ごとに自己評価させ、学びを実感させる。(記入は、○△など) ・テーマに沿った評価</p>

学習過程	学習活動	評価
第一 次 見 通 す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> がくしゅうのめあて・けいかくをつくろう。 </div> ○題名「くじらぐも」から内容を予想する。 ・「おむすびころりん」「おおきなかぶ」を思い出し、どう学習したいか考えながら範読を聞く。 ・挿絵を並べ替え、大体の内容をとらえる。(場面毎の登場人物と行動) ○学習課題を設定する。	・想像しながら、物語を楽しんで読もうとしている。 【関】観察・発言
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ようこそ！くじらぐもワールドへ ～せりふがいっぱい かみしばい～ </div> ○学習計画を立てる。 ・教師の「ゆうやけ」の紙芝居(終わりの場面)を見て、会話を増やして好きな場면을紙芝居にして音読することを知る。 ○新出漢字・片仮名を書く。 ★単元の見通しをもたせるため学習計画を立て、紙芝居に対する目的意識を明確にする。(考えをもたせるための工夫・動機付けの工夫) ★挿絵を並べ替える活動を通して、楽しみながらあらすじをとらえる。(考えをもたせるための工夫・考える技能の活用・順序)	・会話を増やし紙芝居を作る活動を知り、意欲的に取り組もうとしている。 【関】発言
第二 次 深 め る ・ ま と め る	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> せりふがいっぱい かみしばい くじらぐもをおんどくして、すきなところを見つけよう。 </div> ○全体をいろいろな方法で音読する。 (一文リレー、間違ったら交替、会話文を役に分けるなど) ・好きなところの観点を確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> すきなところ…ころがうごいたところ わくわく どきどき ほっとする いいな すきだな </div> ・みんなで音読する。 ・好きな場面に付箋をつける。 ○好きなところを発表し合い交流する。(ペア⇒全体) ・文やことばを紹介して好きなわけを伝える。(観点に沿って)既習の発話例(わけ)を使って話させる。 ○好きなところをワークシートに書く。 ★自分の好きな場面に付箋を貼って思いを明確にさせる。(考えを表現させるための工夫・考えの視覚化) ★わけの言い方の発話例を参考に話させる。ペアで交流しながら、想像を広げたり、考えたりする。(考えを表現させるための工夫・発話例を活用させる・交流)	・お話の好きなところを見つけ書いている。 【読ウ】ワークシート 発言 ・場面の様子や登場人物の行動について、想像を広げながら読んでいる。 発言・観察
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> せりふがいっぱい かみしばい いっしょに せりふをふやしておんどくしよう。 </div> ○会話の作り方を知る。 「ゆうやけ」の会話の作りを調べる。 どの観点を使っているか考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 会話作りの観点 見る 聞く 気持ち </div> ○「くじらぐも」の第1の場面で会話をグループで作る。 ・観点に沿って考えると作りやすいことに気付く。 ・「 」の使い方を調べる。 ・ワークシートに記入し吹き出しを付ける。 (話し合いの進め方も分かるワークシートにする) ★会話を考える観点を確認し、会話を表現する。(考えを表現させるための工夫・ワークシートの工夫) ★会話を考えるため、グループで進め方や司会など役割分担をして交流する。(考えを表現させるための工夫・交流)	・場面の様子を想像し、楽しみながら会話文を考えようとしている。 【読ウ】発言、 吹き出し(付箋) ワークシート

第二次 深める ・ まとめる	5 本時	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">せりふがいっぱい かみしばい じぶんのすきなばめんの せりふをふやしておんどくしよう。</p> <p>○好きな場面が同じ人とグループを作り、会話を考える。 ・学習の仕方を確認する。 せりふの増やし方と書き方 グループ学習の仕方（司会、進め方） ・グループ毎に会話を増やし、音読する。 吹き出しにせりふを書き、挿絵に貼る。 音読しながら観点にあっているか話し合う。 ○ワークシートに会話を入れて音読し交流する。 よいせりふを見つけ伝える。 ★挿絵やワークシートに吹き出しを入れ、自分の思いを言葉に表せるようにする。（考えを表現させるための工夫・ワークシートの工夫） ★グループで交流させることで、考えの良さを伝え合い、より良い表現の工夫に気付かせる。（考えを表現させるための工夫・交流）</p>	<p>・場面の様子を想像し、楽しみながら会話文を考えようとしている。 【読ウ】 発言、 吹き出し(付箋) ワークシート</p>
	6	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">せりふがいっぱい かみしばい つくって おんどくしよう。</p> <p>○紙芝居に会話を入れて音読の仕方を考える。 ・役割分担をする。（会話をどこに、誰が読むか） ・会話を付箋に書き紙芝居に貼る。 ・音読の練習をする。 ○グループ内で聞き合って、よりよい音読の仕方を考える。 ★グループで役割分担をし、音読し合い、よりよい音読になるように交流させる。（考えを表現させるための工夫・交流）</p>	<p>・会話文を工夫し場面の様子がよくわかるように音読している。 【読ア】 発言・観察</p>
	7	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">せりふがいっぱい かみしばい はっぴょうかいをしよう。</p> <p>○会話の作り方や音読の仕方からの観点を確かめる。 ・観点を示した中から見つける。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 会話作りの観点 見る 聞く 気持ち </div> <p>・音読の仕方については、既習の観点を提示しておく。 ○全体で発表し合い、感想（よかったところ）を交流する。 ・ワークシートを用い、観点到に沿ってよいところを見つける。 ★ワークシートに観点を明記し、紙芝居発表会を観点到に照らしながら聞き合い、テーマに沿って評価させる。（学びの価値づけ）</p>	<p>・音読の仕方や会話のよさを見つけようとしている。 【関】 発言 ワークシート</p>

※並行読書については、単元の初めに同一作者の本を紹介し読書を進めていく。

4 本時の指導（5／7時間）

(1) 目標

場面の様子を想像し、楽しみながら会話文を考えることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	形態	学習内容	評価
導入 5分	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>せりふがいっぱい かみしばい</p> </div> <p>じぶんのすきなばめんの せりふをふやして おんどくし よう。</p>	全	<p>○前時に一緒にやって吹き出しを入れた紙芝居を見て、今日の課題への意欲をもつ。</p> <p>○本時の学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</p>	<p>・本時の学習課題がつかんでいる。</p>
展開 35分	<p>3 好きな場面の様子を想像し、場面にあったせりふ（会話）を考える。</p> <p>(1) 学習の仕方を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せりふの作り方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>見る 聞く 気持ち</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「 」の書き方 ・グループ学習の流れ <p>(2) グループ毎にせりふ作りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自会話を考え挿絵にはる。 ・声に出して読んでみて観点（場面の様子）に合っているかどうか話し合う。 ・ワークシートにせりふの付箋を貼る。 ・音読してみる。（グループ内で交流） <p>4 全体で交流する。</p>	<p>全</p> <p>グループ</p>	<p>○1グループは3～4人、司会進行係を決めておく。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>見る……「あっ、大きなくじらがおよいでいるよ。」 「がっこうがみえてきたよ。」</p> <p>聞く……「くじらぐももいっしょにた いいくがしたいんだね。」 「でんしゃのきてきがきこえてきたよ。」 「チャイムがなっちゃったね。」</p> <p>気持ち…「ぜったいのってやるぞ。」 「空の上ってきもちいいね。」 「たのしかったよ。ありがとう。」</p> </div> <p>○選んだ会話を、ワークシートに書き込んでいく。</p> <p>○ワークシートの吹き出しを見ながら、音読を試みる。観点到にそった感想を伝え合う。</p> <p>○観点を確認し合いながら、よいところを見つけて伝える。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈評価〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子を想像し、楽しみながら会話文を考えている。 <p>【読】発言・観察・ワークシート</p> </div>
終末 5分	<p>5 本時を振り返る。</p> <p>6 次時の予告</p>	全	<p>○会話文について振り返る。</p> <p>○次時は、紙芝居を作り音読の工夫をすることを学習計画で確認する。</p>	<p>・楽しく会話を増やすことができたことを振り返っている。</p>